

川内小学校だより

ゆずり葉

第4号 令和6年6月26日



川内の自然の中で尊い命をつなぐ！

この6月、山田川で美しいホタルをたくさん見ることができ、川内地区は本当に自然に恵まれた良いところだなと実感しています。ただここ数日、寒暖の差が激しく、「体がついていかないよね。」という大人同士の会話も聞かれます。人間さえ、この環境の変化に体がついていないのですから、小さな昆虫はなおさらだと思います。今号では、川内地区のシンボルであるホタルの命をつなぐことと、子供たちの命を守るための活動についてお知らせします。

ホタルの命を引き継ぐ活動をしています

こんなにたくさんホタルを見ることができると、「山田川にホタルを呼び戻す会」の方々をはじめ、川内地区の多くの方々が自然を大切にしてくださっているからこそだと感じています。

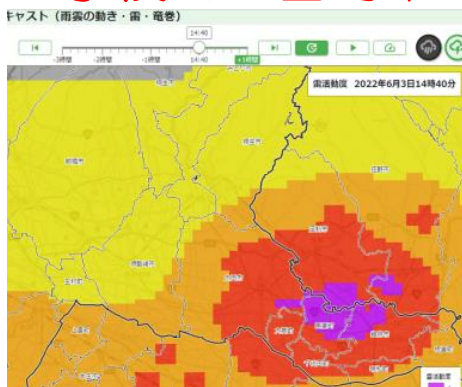
川内小学校では、この会の代表である高久陽一さんにご指導いただき、3年生の総合的な学習の時間でホタルを育てています。5月30日に高久さんからホタルの成虫（雄15匹・雌8匹）と水草をお預かりし、学校の廊下で産卵の様子を見守ってきました。2時間おきに水草に霧吹きで水をかけながら、乾燥しないように見守ってきました。卵を産むとホタルの成虫は死んでしまうと言われていたので、元気なホタルが多いことから、卵が生まれているか心配でした。しかし、高久さんの家へ持っていったところ、ものすごい数の卵が生まれていることが確認でき、子供たち同様大変嬉しかったです。卵をたくさん産んだホタルたちに高久さんの奥様が「みんな本当によくがんばったねえ。」と語りかけているのが大変印象的でした。

現在は、この卵からホタルの幼虫にかえるよう、今度は1時間おきに霧吹きをしながら子供たちと見守っているところです。ホタルは川内地区にとって大切な自然遺産の1つだと考えています。たくさんの幼虫が卵からかえり、子供たちが山田川に放流に行けることを楽しみにしています。



学校での雷対策

気象庁 雷レーダーナウキャストの活用



暑くなるにつれ大気の状態も不安定な日が増えてきました。川内小学校では子供たちが雷に打たれないよう、気象庁の雷ナウキャスト（左図参照）を活用して下校のタイミング等を判断しています。雷ナウキャストは、雷の激しさや雷の可能性を1km単位で解析し、1時間後までの雷の活動度を1～4で表してくれます。下校時には、このシステムを活用して、雷雲の移動方向を確認するとともに、雷雲の活動度が高くなならないうちに、学校から一番遠い子供たちが安全に自宅まで到達できるよう考慮して、下校時のタイミングを判断しています。

ただ、雷ナウキャストでも、天気急変には完全に対応できないこともあるので注意が必要です。学校では、雷雲の色を目視したり、雷鳴があるかどうかを確認したりしていますが、天気が急変した場合にでも子供たちが自身の安全を守ることができるような教育も行っています。

※ 裏面に続く

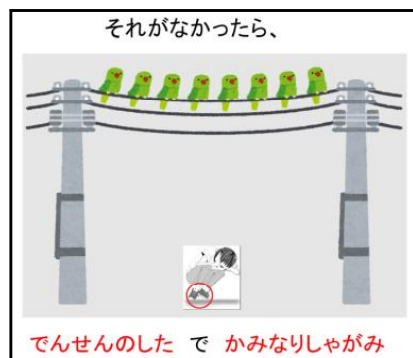
子どもたちへの雷についての安全教育



子供たちが休みの日に外で遊んでいるときや、下校時に天気が急変して雷雲が発生することも十分考えられます。子供たち自身が、自分の安全を守るための知識や判断力を身に付けることはとても重要です。

そこで、6月25日(火)の全校朝会で、低学年でも分かりやすいよう〇×クイズとして問題を出して雷について考えました。子供たちは、広いところや高いところ、自分より高いものを持っているときに雷が落ちやすいということは大変よく理解していました。しかし、高い

木の下や家の軒下などは危険だということを理解していない子どもも多く見られました。また、雷が鳴ったときに家の中や車の中に避難することが大事だということを理解していましたが、近くに家や知り合いの車がない場合については、どこに避難すればいいのか戸惑う子どもも見られました。



か戸惑う子どもも見られました。

意外と知られてはいませんが、電線の下は、雷の電流が電線の方に引き寄せられるため、人に落雷する危険性は低くなるそうです。ただし、高い木の下が危ないように電信柱の下も危ないので、左図のように電信柱と電信柱のちょうど真ん中辺りが比較的安全だそうです。しかも、「雷しやがみ」というつま先立ちでかかとをつけるしやがみ方をすると、近くに雷が落ちた時でもうまく電流を体に入らないよう逃がすことができるのだそうです。

参照

<https://www.chiba-c.ed.jp/yachiyohigashi-h/pdf/2017-2/2017-2-5r.pdf>

7月から新しい交通当番表になります

保護者の皆様には、朝の大変お忙しい中を子供たちの安全を守ってくださり大変ありがとうございます。PTA生活環境部の皆様のご多用の中を作ってくださいました7月からの交通当番表を6月12日付のtetoru（諏訪酒店、今泉米穀店、4丁目Y字路は6/21修正版）で配布させていただきました。ぜひ、ご確認をお願いいたします。

近年、子供たちの数も少なくなり、その反面、交通当番の回数も多く回ってきて、保護者の皆様のご苦勞もお察しいたします。また、夫婦共働きのご家庭も増え、忙しさにも拍車がかかっていることと思います。そんな中ですが、都合のつかない場合には、連絡を取り合って交換しあい、子供たちの安全を守ろうとくださる方が多いのに感謝しています。

その一方で、旗振り当番をしない方もいらっしゃるということも耳にします。先日、地域の方から「最近旗振り当番が立っていない場所がある。」とのご指摘のお電話をいただきました。

子供たちの命を守るためにも、都合のつかない場合は、他の人と当番日を交換するなどのご配慮をお願いいたします。また、7月1日(月)には学校評議員会という地域の代表の方が集まって川内地区の子供たちのことを考える会があります。子供たちが少なくなった現状を踏まえ、保護者の皆様だけでは大変になっている交通当番状況を地域の皆様と共有し、改善策を考えていきたいと思っています。

